

2. Approach adopted

2.1 An action-oriented approach

5020012 寺田里紗

2.1 An action oriented approach

- 包括的でわかりやすく、一貫性のある共通枠組みのためには言語使用や学習の一般的な見方に一致している必要がある。
- **action-oriented approach(行動主義的アプローチ)**においては、言語の使用者、学習者＝**social agents (社会的成員)**とみなしている。
- **social agents**: 環境の中で言語に限らず達成すべき課題を持っている社会的一員のこと
- ここでの**task(課題)**は、個人または複数の人によって個人の能力を使って方略的に遂行されるものを指す。
- 行動主義アプローチは認知的、感情的、意志的な資源など幅広い能力を考慮に入れている。

- **Competences:** 人が行動するのに必要な知識、技術、性格などの総和
- **General competences:** 言語特有のものではないが、言語活動を含むすべての行動に求められる能力
- **Communicative language competences:** 言語特有の意味を用いて、行動する能力
- **Context:** コミュニケーションが行われる状況的な要素や出来事の集まり。内在的であったり、外在的であったりする。
- **Language activities:** 課題の実行のためにテキストを処理する特定の領域での communicative language competence の行動も含んでいる
- **Language processes:** 言葉の受容や産出に含まれる一連の出来事
- **Text:** 特定の領域に関わるまとまりや談話

- **Domain**: 社会生活における幅広い分野、部門のこと
- **Strategy**: 課題を遂行するために個人に選択される目的を持った、調整されたもの
- **task**: 問題解決のために、必要だと認識された目的のある行動(本を書く、交渉する、ゲームをする、注文をする、翻訳をするなど幅広く指す)

- これらの領域が言語使用や学習において相互に関連しているとしたら、学習や教育活動はこれらすべての領域に関わっているといえる。
- が、区別ができないわけではなく、領域の中でも目標を絞ることができる。
- ex. communicatin skillsを伸ばす→language acitivityの発達、特定の領域のパフォーマンスの向上、general competencesの発達、strategyの強化など様々なアプローチの仕方がある。

2.1.1 general competences of an individual

- General competencesの主要要素として、**knowledge, skills, existential competence, ability to learn**がある。
- **knowledge:**
 - declarative knowledge(宣言的知識)は経験的知識と学術的知識の二つからなる。
 - コミュニケーションのためには知識の共有が重要で、必ずしも言語に関わる知識ばかりが求められるわけではない。
 - 個人が持つこれらの知識は言語学習に大きく影響し、多くの教授法や学習法はこれらを前提としている。
 - イマージョンなどの特殊な環境では、言語とその他の知識のバランスについてより注意深く考える必要がある。

2.1.1 general competences of an individual

- **skills:**
 - 宣言的知識よりも、手順を実行する能力(手続き的知識)のことをいう。(車の運転、バイオリンの演奏など)
 - 何度も繰り返し、やり方を身につけると知識を意識しなくても自動的に行うことができるようになる。
- **Existential compete :**
 - 個人の性格や態度などのことをいう。
 - これらは不変ではなく、文化適応などによって変わっていくことがある。
 - 文化との関わりが大きく、それぞれの性格や態度は文化によってとらえ方にも違いがある。

2.1.1 general competences of an individual

- **ability to learn:**
- knowledge, skills, existential competenceを活用したり、引き出したりする能力のことをいう。
- 学習者によって、能力の組み合わせや程度など活用の仕方はさまざまである。
- 扱っている出来事や文脈、過去の経験とのかかわりなどによっても、能力の活用の仕方はさまざまになる。
- この能力はlearning stylesや learner profilesのように呼ばれることもある。
- 学習者の取るstrategyは個人の能力や学習経験の多様性によって異なる。

2.1.2 Communicative language competence

- Communicative language competenceは主に**Linguistic competences, Sociolinguistic competences, Pragmatic competences**の3つに分けることができる。
- **Linguistic competences :**
 - 語彙や発音、統語など言語システムに関する知識や技術のこと
 - 知識の量や質だけでなく、認知的組織化や記憶、記憶を引き出す能力なども関わっている。
 - 組織化や引き出しは個人によって、また個人内でも違いがあり、所属するコミュニティや教育環境の影響も受ける。

2.1.2 Communicative language competence

- **Sociolinguistic competences:**

- 言語使用における社会文化的状況のこと。(礼儀作法、世代、性別、社会階級ごとの規範などの社会慣習)
- 特に異文化間において、全ての言語コミュニケーションに影響を与えている。

- **Pragmatic competences:**

- 言語資源を使用するときの機能的な側面のこと
- 談話の知識、一貫性や結束性、テキストタイプや形式、パロディや皮肉の認識や理解などにも関わる。
- 他の言語的要素などよりも、相互交流や文化環境の影響を大きく受けている。

2.1.3 Language activities

- 言語使用者や学習者の communicative language competence はさまざまな言語活動を行うことによって活性化される。言語活動には主に **reception, production, interaction, mediation** が含まれ、話し言葉、書き言葉どちらにも当てはまる。
- **reception, production:**
 - これら二つは主要なもので、やり取りにも必要になる。
 - この枠組みの中では、役割はそれぞれ限定される。
 - 受容→黙読やメディアの視聴、講義の理解などが含まれる。
 - 産出→口頭のプレゼンテーションや研究書、報告書などが含まれる。

2.1.3 Language activities

- **interaction:**

- 少なくとも2人以上の参加者がいて、互いに受容と産出を交互に行っている。
- 相手の話を聞きながら返事を準備する、など受容と産出それぞれ単独で学ぶ以上のものを含んでいる。
- やり取りはコミュニケーションの中心的な役割とされ、重要視されている。

- **mediation:**

- 直接コミュニケーションを取れない人たちの間をつなぐ役割を持っている。
- 通訳や翻訳、要約、言い換えなどによって、直接情報を入手できない人に向けて提供される。
- 既存のテキストの再構成として、社会の中でも重要な地位を占めている。

2.1.4 Domains

- 言語活動は領域の中で文脈化される。目的によって、大きく public domain, personal domain, occupational domain, educational domain の4つに分類される。

- **public domain:**

- 通常の社会的な交流
- 仕事、行政、公共サービス、メディアなどを指す。

- **personal domain:**

- 家族に関わることや、個人的な活動を指す。

2.1.4 Domains

- **occupational domain:**

- 職業の中での個人的な活動などを指す。

- **educational domain:**

- 特定の知識や技術を身につけることを目的とした学習、訓練などの文脈を指す。

2.1.5 Tasks, strategies and texts

- コミュニケーションや学習は**task(課題)**の遂行を含んでいる。この課題は言語活動やコミュニケーション能力を含んでいるものかもしれない。



- 課題の遂行のためには**strategies(方略)**が必要となる。
- 言語活動に関わるタスクであれば、**texts(テキスト)**の処理も必要となる。

2.1.5 Tasks, strategies and texts

- 方略、課題、テキストの関係は課題の内容の影響が大きい。
- 課題によっては、言語活動が主に必要になるもの（読む、コメントをする、空欄を埋める...）もあれば、その他の能力を主に必要とするもの（レシピに沿って料理する）もある。
- コミュニケーションや学習のストラテジーや課題はたくさんあるものの1であると言える。